

黒毛和種繁殖牛 飼料給与プログラム



令和元年度 佐賀県畜産試験場

黒毛和種繁殖牛飼料給与プログラム

～目標 1年1産！健康な母牛の身体づくりのために～

分娩前管理の point

適度な増飼をしましょう

栄養不足は繁殖成績が低下し、子牛が病気しやすくなります。

太りすぎには注意！

逆に過肥は難産の原因となります。牛の状態を見ながら増飼を。

良質粗飼料の給与を！

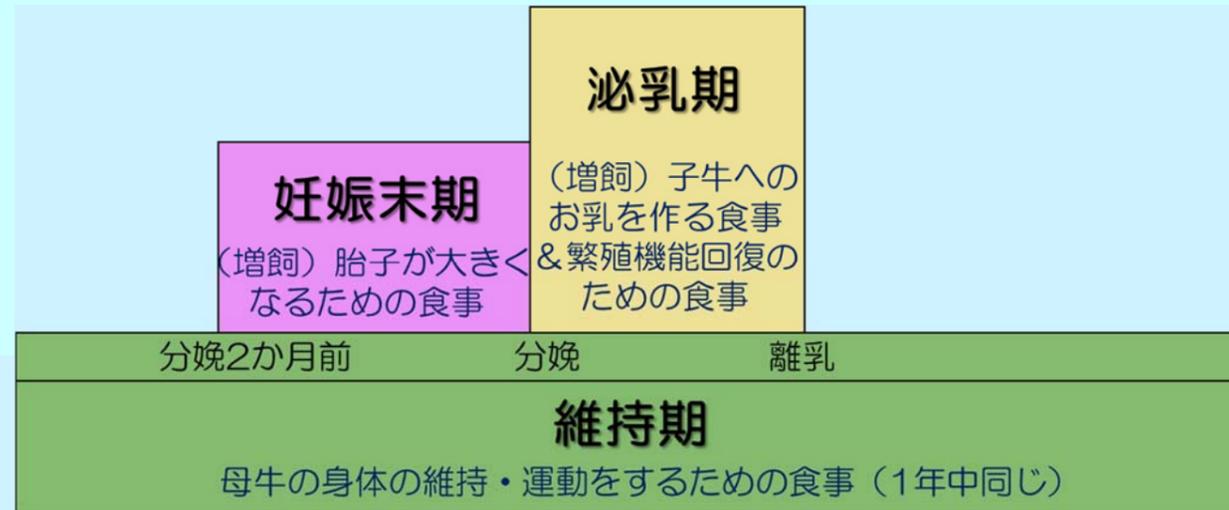
タンパク質含量やビタミン不足も繁殖成績の低下を招きます。

「痩せさせない・太らせない」飼料給与を！

繁殖成績・子牛の発育向上のためには、各ステージに必要な量をしっかり母牛に食べさせましょう。

自分が給与しているえさの量を言えますか？

まずは測ってみましょう！



母牛のステージ別給与飼料量のイメージ

分娩後管理の point

栄養が不足しやすい時期

母牛が痩せてきていませんか？
栄養不足は繁殖機能の回復を遅らせます。

乳量は十分に

出ていますか？

子牛がずっとお乳に吸い付いている、痩せている場合は乳量が少ない場合も。

早めに母子分離を！

繁殖機能の早期回復、さらに子牛の発育のバラつきも低減！

母牛の「適度な栄養度」とは？

削瘦→骨の上を触ると脂肪が少ない (栄養度 3 以下)

過肥→骨の上を触ると脂肪が多い or 骨に触れない (栄養度 7 以上)

「栄養度判定」

6 部位 (き甲、背、肋、腰角、尻、尾根部) を 1~9 の数字で判定。数字が大きいほど過肥。

簡易的に栄養度を測る機器も販売されています！



皮下脂肪厚計 (藤原製作所)



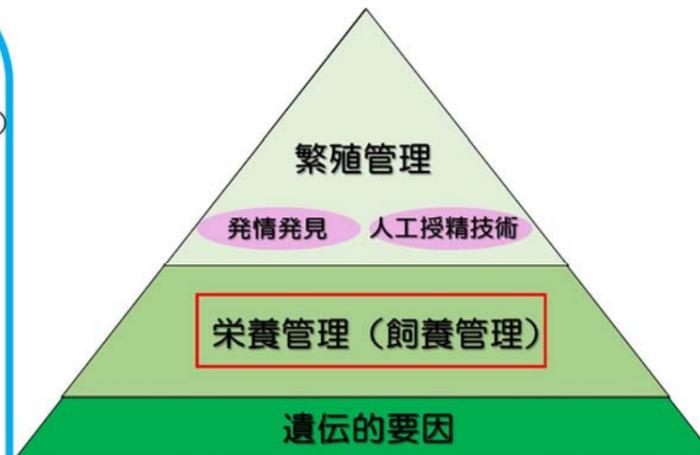
栄養度 3
【削瘦】



栄養度 4~6
【適度】



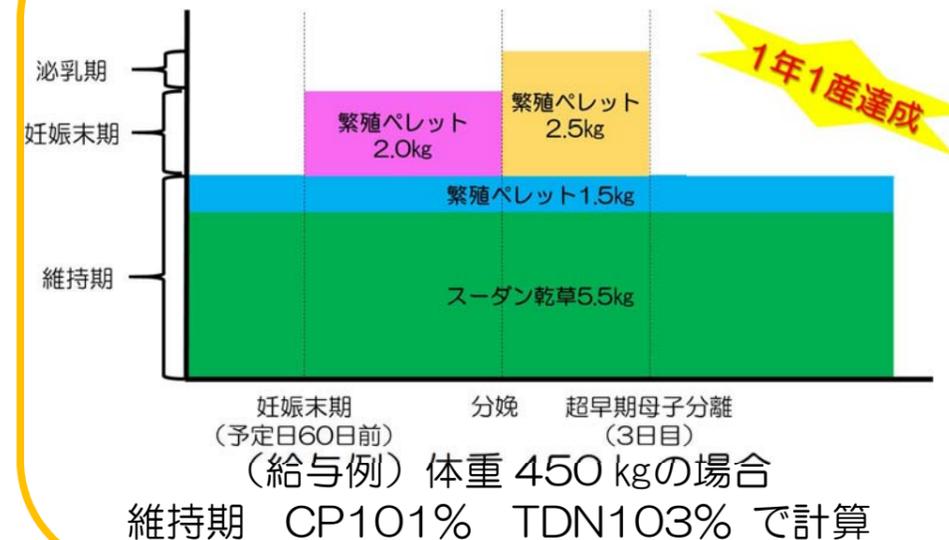
栄養度 7
【過肥】



独立行政法人畜産改良センター鳥取牧場
代謝プロフィールテストを用いた黒毛和種における飼養管理マニュアルより

いい発情がくる、受胎しやすい牛を作るには
ピラミッドの下から改善していくことが大切！

給与事例 (畜産試験場)



(給与例) 体重 450 kg の場合
維持期 CP101% TDN103% で計算

～コラム～

超早期母子分離後の増飼

早期母子分離の場合、泌乳のためのエネルギーが足りないため分離後は維持期の給与量に戻すとされています。しかし、**分娩後1か月間は繁殖機能が回復するための大事な期間**です。もし、**繁殖成績が不良で、なおかつその期間に母牛が痩せているようであれば、**太らない程度に増飼し栄養を補ってあげましょう。

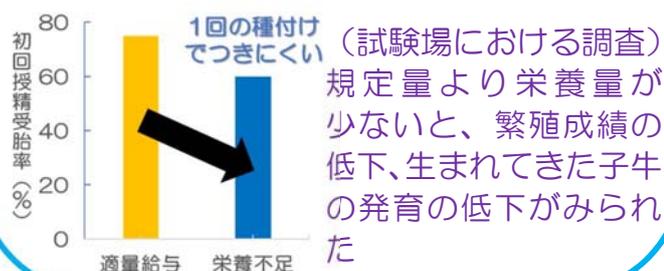


(試験場における調査)

超早期母子分離後、妊娠末期と同量の増飼を1か月間実施したところ、過肥になることなく繁殖成績が向上

定期的な飼料分析を！

牧草やWCSは、気候や刈り取り時期、施肥等で栄養量やビタミン含量が大きく変動します。専門機関に依頼し、定期的に飼料分析を行いましょう。



優良事例紹介

👤 農家 A さん (分娩間隔 365 日)

超早期母子分離を実施。また、過肥にならないよう母牛にしっかり運動させている。

👤 農家 B さん (分娩間隔 377 日)

妊娠末期にたんぱく・ビタミン増給のためオーツハイを追加している。

👤 農家 C さん (分娩間隔 395 日)

栄養度をみながら個体別に分娩前の増飼量を決定している。



ご不明な点があれば
いつでもご相談ください

佐賀県畜産試験場
大家畜部大家畜研究担当
TEL 0954-45-2030

母牛の適切な飼養管理で分娩間隔の短縮を目指そう！